

○ ケアハウスゆうあい

2023年度（令和5年度）のケアハウスゆうあい事業報告をいたします。

1. 総括

当施設は、2009（平成21）年の創設以来、主に地域でお住いの要支援から要介護の状態にある高齢者の「第二の住まい」として、これまで190名の入居者を迎えてきました。

この数年は、新型コロナウイルス感染への感染予防を前提としたサービス提供を実施せざるを得ませんでした。2023（令和5）年5月に新型コロナウイルスが2類から5類感染症に移行後は、ご家族との面会や外出、地域交流に対する制限を段階的に緩和し、サービス提供体制の再整備を進めてきました。その結果、コロナ禍前と遜色ない水準にまで体制整備が進み、入居者の生活に笑顔と活気が戻ってきました。また、国民の5人に1人が75歳以上の後期高齢者となる2025（令和7）年を直前に控え、機能訓練や認知症対応などの将来ニーズや2024（令和6）年の介護報酬改定を見据えた経営基盤の強化にも注力してきました。

当施設の強みである職員の定着については、前年度と同様、年間目標である「民主的かつ思いやりのあるチームワーク」が全てのスタッフ間で浸透しつつあり、今年度も95%以上の定着率を達成することができました。それに伴って人材育成も進み、介護職に占める介護福祉士の割合が90%を越えたほか、外国人職員も戦力として安定してきたことから、次年度に向けてより専門性の高いサービス提供が可能となりました。

2. サービスの状況

(1) サービスの概要

サービス内容：介護予防特定施設入居者生活介護（要支援1・要支援2）
 特定施設入居者生活介護（要介護1-要介護5）

入居定員（人）：46

介護・看護職配置（人）：23.8

平均在籍率（%）：97.8（93.4-100.0）

平均稼働率（%）：94.0（84.7-98.5）

【平均在籍率・平均稼働率の年間推移】

在籍数（人） 在籍率・稼働率（%）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
在籍数	43	44	44	45	45	46	46	45	46	46	46	44	45
在籍率	93.4	95.6	95.6	97.8	97.8	100.0	100.0	97.8	100.0	100.0	100.0	95.6	97.8
稼働率	84.7	90.5	93.0	97.6	93.6	92.3	94.2	97.4	98.5	95.6	96.4	95.2	94.1

(2) 平均要介護度・平均年齢・平均在籍年数

平均要介護度は前年度とほぼ横ばいの1.8でした。要支援及び要介護1、2の軽度要介護者が全体のそれぞれ30%、中・重度要介護者が40%でした。

平均年齢は92歳で、95歳以上の入居者が23人と入居定員の半数を占め、うち100歳以上は5名でした。

【平均要介護度・平均年齢・平均在籍年数】

平均要介護度	1.8	1.7-1.9
平均年齢	92歳	72-105歳
平均在籍年数	3.6年	0.1-12.3年

(3) 入退居者の状況

新たな入居者は 11 人、退居者も 11 人でした。入居者のほとんどが区内在住者で、入居理由では「一人暮らしへの不安」が最多でした。コロナ禍以降は、糖尿病や新型コロナウイルス感染症の入院加療中に生活機能が低下し在宅復帰が困難となったケース等、病院からの紹介件数が増加し傾向にあります。

一方、退居理由では、依然として病院で最期を迎えるケースが最も多く、それに次いで施設での看取り、特養への転居と続きました。特養への転居理由では、要介護度の重度化に伴う経済的な将来不安が最多でした。なお、転居先につきましては、当法人の友愛苑もしくはかもこの風となっています。

【入退居者の状況】

入居者	11 人	【入居前の住居】 自 宅 6 人 他施設 2 人 病 院 3 人
退居者	11 人	【退居時の場所】 当施設 3 人（看取り） 病 院 5 人 他施設 3 人（転居）

(4) 事故及びヒヤリハットの状況

ヒヤリハット及び軽微な事故に関する報告は 528 件、入院等を伴う重大事故は 3 件でした。報告内容につきましては、毎月開催のヒヤリハット委員会において集計と分析を行い、重大事故予防策の検討と提案に努めました。例年同様、居室内での転倒・転落事故が最も多く、重大事故 3 件につきましても 3 件中 2 件は居室内での転倒による骨折事故でした。

【ヒヤリハット及び事故件数】

ヒヤリハット及び軽微事故	528 件
入院等を要した重大事故	3 件
合計	531 件

(5) 高齢者虐待・身体拘束防止対策

虐待及び身体拘束に関する報告はありませんでした。毎月、虐待防止に向けた定期的な会議を開催したほか、令和 6 年 2 月から 3 月にかけて虐待防止研修及び身体拘束防止研修を実施し、全ての職員が受講を終了しました。

3. 職員の状況

特定技能外国人の介護職 1 名が退職しましたが、それ以降の退職者はなく定着率は前年度同様 95%以上を達成しました。次年度は新たにネパールから特定技能外国人を迎えることが内定しています。

また、今年度も介護福祉士試験の合格者があり、介護職のうち介護福祉士の有資格者は 90%以上を達成しました。

【退職者の状況】

職 種	勤務形態	人数	定着率
介護職	常勤	1 人	95.5%
職員全体		1 人	96.4%

4. 主な行事・クラブ活動

コロナ禍、外出や社会交流の機会が激減しましたが、新型コロナウイルスが 5 類感染症に分類されて以降は、初詣等の外出や食事をテーマにした行事を段階的に再開し、入居者の日常にも多くの笑顔が見られるようになりました。現在は、次年度の春から初夏にかけての遠足に向けて計画中です。

5. 防災・防犯計画

特養友愛苑と一体的に災害対策委員会を毎月開催し、南海トラフ大地震をはじめとする大災害を想定した様々な研修を実施したほか、義務化が予定される災害及び感染症に関する BCP（事業継続計画）の策定を進めました。

(1) 火災避難訓練

【火災避難訓練の実施状況】

研修・訓練	実施日
火災避難訓練（夜間想定）	令和 5 年 7 月 16 日
火災避難訓練（日中想定）	令和 6 年 2 月 26 日

(2) 災害避難訓練

【災害避難訓練の実施状況】

研修・訓練	実施日
災害訓練（台風・土砂災害想定） ※図上訓練	令和 5 年 6 月 19 日
災害訓練（地震・土砂災害想定） ※図上訓練	令和 5 年 10 月 16 日
福祉避難所開設訓練	令和 5 年 12 月 18 日

(3) その他

【その他の研修・訓練・点検の実施状況】

研修・訓練	実施日
防犯研修	令和 5 年 9 月 22 日
産業医職場環境点検	令和 5 年 10 月 13 日
非常食（備蓄食）訓練	令和 5 年 11 月 23 日
職員ストレスチェック調査	令和 5 年 11 月 1 日

6. 資金計画

別添「令和 5 年度決算書」の通りです。